別添2

表１　「手動車いす」品質試験結果一覧表

品目名	手動車いす
規格番号	JIS T 9201（最終改正年：2006）
規格名称	手動車いす
種類	自走用、介助用

○：適合
×：不適合
－：試験対象外

試料番号	認証番号	製造事業者名	型番	製品の種類	試験結果											
					10.1.1 静止力	10.1.2 静的安定性	10.1.3 直進走行性	10.1.4 駆動輪・主駆動輪・主軸の振れ	10.1.5 ハンドリムの振れ	10.2.1 シート耐荷重	10.2.2 アームサポート下方耐荷重	10.2.3 アームサポート上方耐荷重	10.2.4 フットサポート上方耐荷重	10.2.5 ティッピングレバー耐荷重	10.2.6 手押しハンドル上方耐荷重	10.2.7 グリップ耐離脱性
1	JE0409002	日進医療器株式会社	IR	自走用手動車いす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	ML0409002	株式会社松永製作所	AR-101	自走用手動車いす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	JE0410001	株式会社　三貴工業所	M-43SK	自走用手動車いす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	JE0409005	日進医療器株式会社	NC-2CB	介助用手動車いす	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×（※1）
5	JE410002	株式会社　三貴工業所	SKT-1	介助用手動車いす	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○
6	JE0509008	株式会社　カワムラサイクル	KR55	介助用手動車いす	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×（※2）

試料番号	認証番号	製造事業者名	型番	製品の種類	試験結果											評価
					10.2.8 キャスタ耐荷重	10.2.9 バックサポート斜め耐衝撃性	10.2.10 フットサポート耐衝撃性	10.2.11 ハンドリム耐衝撃性	10.2.12 キャスタ耐衝撃性	10.2.13 駐車用ブレーキの耐久性	10.2.14 走行耐久性	10.2.15 車いす落下性能	6. 構造	7. 寸法及び形	8. 外観	
1	JE0409002	日進医療器株式会社	IR	自走用手動車いす	○	○	○	○	○	○	×（※1）	○	○	○	○	×
2	ML0409002	株式会社松永製作所	AR-101	自走用手動車いす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	JE0410001	株式会社　三貴工業所	M-43SK	自走用手動車いす	○	○	○	○	○	○	×（※1）	○	○	○	○	×
4	JE0409005	日進医療器株式会社	NC-2CB	介助用手動車いす	○	○	○	－	○	○	×（※1）	○	○	○	○	×
5	JE410002	株式会社　三貴工業所	SKT-1	介助用手動車いす	○	○	○	－	○	×（※1）	×（※1）	○	○	○	○	×
6	JE0509008	株式会社　カワムラサイクル	KR55	介助用手動車いす	○	○	○	－	○	○	×（※2）	○	○	○	○	×

※1 初回試験及び再試験の両方で不適合が検出された項目。

※2 初回試験では不適合が確認されたが、再試験では不適合が検出されなかった項目。

備考：上記試験項目に対してJISで要求される性能等は下記のとおり

項目番号	内容	性能等
10.1.1	静止力	静止していること。
10.1.2	静的安定性	山側の車輪が傾斜台との接地面から離れてはならない。
10.1.3	直進走行性	進行方向に対して偏位量は、130mm 以下とする。
10.1.4	駆動輪・主軸の振れ	縦振れは、2mm 以下とする。横振れは、2mm 以下とする。
10.1.5	ハンドリムの振れ	縦振れは、5mm 以下とする。横振れは、3mm 以下とする。
10.2.1	シート耐荷重	荷重除去後の永久変形量は、3mm 以下とする。附属書6の評価要件を満たさなければならない。
10.2.2	アームサポート下方耐荷重	附属書6(注)の評価要件を満たさなければならない。
10.2.3	アームサポート上方耐荷重	附属書6(注)の評価妥件を満たさなければならない。アームサポートが取り外し式で、ロック機構のないものは除外する。
10.2.4	フットサポート上方耐荷重	附属書6(注)の評価要件を満たさなければならない。フット・レッグサポートが取り外し式で、ロック機構のないものは除外する。
10.2.5	ティツピングレバー耐荷重	附属書6(注)の評価要件を満たさなければならない。
10.2.6	手押しハンドル上方耐荷重	
10.2.7	グリップ耐離脱性	グリップは抜けてはならない。
10.2.8	キャスタ耐荷重	試験時、次の条件を満たさなければならない。a)旋回部の行動は滑らかで、緩みが生じない。b)タイヤの復元性 がよく、車輪の回転が円滑である。c)各部にき裂・タイヤのへこみ及び-離脱がない。
10.2.9	バックサポート斜め耐衝撃性	附属書6(注)の評価要件を満たしている。なお、この試験は、パックサポート高320mm以上の車いすに適用する。
10.2.10	フットサポート耐衝撃性	附属書6(注)の評価要件を満たさなければならない。
10.2.11	ハンドリム耐衝撃性	
10.2.12	キャスタ耐衝撃性	
10.2.13	駐車用ブレーキの耐久性	
10.2.14	走行耐久性	
10.2.15	車いす落下性能	
6.	構造	6.1身体支持部、6.2フレーム、6.3駆動部、6.4車輪、6.5ねじ、6.6附属品の要件をすべて満たすこと。
7.	寸法及び形状	7.2車いす寸法　表3の要件をすべて満たすこと。
8.	外観	8. 外観の要件をすべて満たすこと。

（注） 附属書6の評価要件については、次頁表2の欄外(＊)を参照

表2：手動車いすJIST9201：2006　初回試験結果（不適合を含む項目のみ）

○：適合

製造事業者名	型番	製品の種類	試験項目		
			JIS T 9201　10.2.7	JIS T 9201　10.2.13	JIS T 9201　10.2.14
			グリップを250Nの力で10秒間引っ張り、抜けないことを確認する。	左右いずれか一方の駐車用ブレーキについて、0．5Hzを超えない周波数で、ブレーキを掛けてから外す一連の操作を、60000回繰り返した後、JIS T 9201 附属書6*（下記参照）の評価要件を満足するか確認する。	車いすに最大使用者体重に準じた質量のダミーを載せ、前後の車輪が直径250㎜のドラム1回転中に、1回幅36㎜、高さ12㎜の段差を乗り越えるようにし、後輪の速度を1.0 m/s±0.1 m/s、前輪は後輪より2～7%増速させた速度で、200000回段差乗り越えをさせた後に、JIS T 9201 附属書6*（下記参照）の評価要件を満足するか確認する。
日進医療器株式会社	IR	自走用	○	○	26537回でﾌﾚｰﾑ破損
株式会社松永製作所	AR-101	自走用	○	○	○
株式会社　三貴工業所	M-43SK	自走用	○	○	88070回でﾌﾚｰﾑ破損
日進医療器株式会社	NC-2CB	介助用	220Nで左側抜け	○	75426回でﾊﾟﾝｸ,ｽﾎﾟｰｸ破損
株式会社　三貴工業所	SKT-1	介助用	○	38950回で戻りばね破損	118964回でｽﾎﾟｰｸ破損
株式会社　カワムラサイクル	KR55	介助用	250N保持できず左側抜け	○	199800回でﾊﾟﾝｸ,ｽﾎﾟｰｸ破損

＊　附属書6　（規定）評価要件

1.　**評価要件**　試験後、車いすは各部に破損、外れ及び使用上支障のある変形がなく、次に示す全ての要件をみたさなければならない。
a)　構成要素は、折れ又は目視で確認できるクラックがあってはならない。
b)　ナット、ボルト、ねじ、ロックピン、調整可能な部品及び同様の構成部品は、試験前に一度締め付け、調整、再適合してもよいが、これらは試験中に外れてはならない。
　ただし、2ピースタイプのフットサポートの耐衝撃試験はこの限りではない。
c)　取り外し、折りたたみ及びすべての調整部分は、製造業者の仕様どおり操作できなければならない。
d)　グリップは外れてはならない。
e)　調整できる部位はb)で認められたもの以外、最初の位置からずれてはならない。
f)　構成品や組立部品は、車いすの機能に悪影響を及ぼす破損、調整不良及びガタがあってはならない。

表3：手動車いすJIST9201：2006　再試験結果（初回不適合の項目のみ）

○：適合
ー：試験未実施

製造事業者名	型番	製品の種類	試験項目		
			JIS T 9201　10.2.7	JIS T 9201　10.2.13	JIS T 9201　10.2.14
日進医療器株式会社	IR	自走用	ー	ー	71305回でﾌﾚｰﾑｸﾗｯｸ
株式会社松永製作所	AR-101	自走用	ー	ー	ー
株式会社　三貴工業所	M-43SK	自走用	ー	ー	89607回でﾌﾚｰﾑ破損
日進医療器株式会社	NC-2CB	介助用	100Nで左、240Nで右側抜け	ー	47140回でﾌﾚｰﾑｸﾗｯｸ
株式会社　三貴工業所	SKT-1	介助用	ー	22258回で戻りばね破損	87426回でｽﾎﾟｰｸ破損
株式会社　カワムラサイクル	KR55	介助用	○	ー	○

表４　「手動車いす」表示検査結果一覧表

品目名	手動車いす
規格番号	JIS T 9201（最終改正年：2006）
規格名称	手動車いす
種類	自走用、介助用

○：適合

試料番号	認証番号	製造事業者名	型番	製品の種類	表示									
					JISに規定する表示									
					本体					取扱説明書				
					規格番号	種類	製造年月又はその略号	製造業者名、販売業者名、又は輸入業者名若しくはその略号	使用者最大体重	各部の名称	折りたたみの仕方	保守の仕方	走行上の注意	故障時の処置
1	JE0409002	日進医療器株式会社	IR	自走用手動車いす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	ML0409002	株式会社松永製作所	AR-101	自走用手動車いす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	JE0410001	株式会社　三貴工業所	M-43SK	自走用手動車いす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	JE0409005	日進医療器株式会社	NC-2CB	介助用手動車いす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	JE410002	株式会社　三貴工業所	SKT-1	介助用手動車いす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	JE0509008	株式会社　カワムラサイクル	KR55	介助用手動車いす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

試料番号	認証番号	製造事業者名	型番	製品の種類	表示									評価
					JISに規定する表示									
					取扱説明書						認証省令に規定する表示			
					諸元表	静的安定性試験方法(a)又はb)の区別）	一般用メートルねじ以外のねじを用いた場合は、ねじの種類	製造業者又は販売業者若し〈販売業者若しくは輸入業者の連絡先	キャスタが交換可能な場合、推奨するキャスタ径	その他必要な事項	JISマーク	日本工業規格の番号	登録認証機関の氏名又は名称	
1	JE0409002	日進医療器株式会社	IR	自走用手動車いす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	ML0409002	株式会社松永製作所	AR-101	自走用手動車いす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	JE0410001	株式会社　三貴工業所	M-43SK	自走用手動車いす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	JE0409005	日進医療器株式会社	NC-2CB	介助用手動車いす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	JE410002	株式会社　三貴工業所	SKT-1	介助用手動車いす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	JE0509008	株式会社　カワムラサイクル	KR55	介助用手動車いす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○